

ホメオパシーと周期律表

周期律表について、まとめておきます。

周期律表は、レメディ選びの際に大いに役立つものです。
クライアントのセッション時にも、ケース分析時にも、この周期律表の観点があると、その人の全体像が見えて来たり、レメディがずばり分かったりする優れたものです。
初学者には、ケースを三界分類から入るのは、大きなリスクがありますが、もし、クライアントが鉱物レメディを必要としていると仮定して考えた時、周期律表のどのあたりに位置づけられるか？を考えてみるととても役立ちます。

周期律表とは、人が胎内から死を迎えるまでのレプリカだという理解が入り口です。

周期律表の全体像（サンカラン／「Structure」より抜粋）

※Row=シリーズ（ショルテン）と同じ意味

Row 1	受胎と存在
Row 2	胎児期と誕生過程（一部と分離）
Row 3	自分自身であることと栄養
Row 4	安全と仕事
Row 5	創造性とパフォーマンス
Row 6	責任
Row 7	解放（分解 崩壊）

ROW 1 Conception and existence: 受胎と存在

この row の課題 issue は existence. 受胎時のように 2 つが 1 つになる、無から新しい生命が生まれ、エネルギーが物質へと結晶化する。それまでは何もない、存在しない。受胎すると、‘Am I or am I not? Do I exist or not?’という疑問が浮かんでくる。

ROW 2 Fetal life and the birth process (being part within another and separating) : 胎児期と誕生過程（他の中の部分、そして分離）

Row 2 の課題は受胎に続くイベント：Fetal life and separation 胎児期と分離。 分離のプロセスは出産のプロセスを映すもので、胎児は母親（子宮）の一部であった時期から今や分離しなければならない。だから、彼は今や自分自身としての存在者 entity であり、‘Am I a part of something or am I separate?’というのが疑問。

この row の remedy は、出産と誕生のプロセスの色々なステージを反映する。左側の Lithium と Beryllium は全く分離の兆候はない、Boron では分離が始まり、Fluorine で分離が完了し、2 つの分離した個体 separate individuals となる。

ROW 3 Identity and nourishment: アイデンティティと栄養

Row 3 の課題は分離と誕生に続くもの: **Developing one's identity and the expressions of it like image, choice and ego.** 自分のアイデンティティを発達させて、イメージ、選択、エゴなどを表現する。

このステージは、存在 (row 1) し分離 (row 2) して、今や彼ら(子供 the child)は自身の個性とアイデンティティを探し始める。その feeling は、'I am separate, but who am I?' これは 3-6 歳ぐらいの子供の発達ステージで、彼らは選択 choice をし始め、自分自身のために物事を行う能力を表現し、自分自身や他人からどう思われているかについて自覚するようになる。

このステージの子供は、思いやりや栄養やケアや感情的サポートを必要とする。彼らは自然や未知のことや馴染みのないことにたいする恐れを発達させ、そして既知(馴染み)と未知(馴染みのない)や、正しいことと誤りを識別するようになる。成長と発達に関連した問題が生じるようになる。

ROW 4 Security and task: 安全と務め(役目を果たす)

Row 4 の課題は **security, which is in terms of money/finances, relationships, house, job and health.** お金・財産、他者との関係性、家、仕事、そして健康面での安全確保です。また、強さなど自身を防衛する能力を発達させることとも関係しています。

アイデンティティを確立させると、次のステップでは堅実さや防衛能力 **solidity or defense capability** を発達させる、それは row の左側では欠けていて、ゆっくりと発達させ、右側では失われていく。

まとめると

Row 2	Row 3	Row 4
Needs covering.	Needs connection.	Needs strength and energy.

ROW 5 Creativity and performance: 創造とパフォーマンス

Row 5 の課題は、**facing the new, creativity and performance.** 彼らは情報を得て、結論し、分析し、即興で作り、研究し、発明し、工夫し、定式化し、想像し、解決する。

ここでの feeling は、'I am safe but I need to explore the new' 彼らが必要としているのは **creative, perform, be appreciated** 創造する、達成する、評価される

そしてまた自身を防衛 defend しなければならない。彼らはルーチンなことはできない、総ての状況は新しく、彼らは問題を解決しなければならない。この能力は row の左側では完全に欠けていて、次第に発達させ、中央で成功したパフォーマンスとなり、右側にいくにつれて能力を失い始める。

ROW 6 Responsibility: 責任

Row 6 の課題は **taking up responsibility, the need for power and the need to withstand high pressure.** 責任を担い、パワーを必要とし、大きなプレッシャーに耐えなければならない その feeling は、'I have an identity(row 3), and I can protect myself (row 4), I am creative (row 5) but now *have to take leadership and responsibility*'

この責任をとる能力は row の左側では完全に欠けていて、中央で責任とリーダーシップをハンドリングするのに成功し、そして右側でその能力が失われていく。

ROW 7 Letting go (disintegration): 解放する 手放す

Row 7 の課題は次のように感じること、**overloaded, overburdened, pulled back, held together and confined as if under tremendous pressure and responsibility and then the desire to break free, let go, let loose and break out** 過剰な負荷、負担のかけすぎ、引き戻される、一緒に束縛される、監禁される、まるで極度のプレッシャーと責任の下から打破したい、解放したい、緊張を緩めて出ていきたいかのように これは最終的には破壊と分解 destruction and disintegration に導かれる。

このように、世界は3つのレベルに分けられる。大工 carpenter や建築家や施工者 architect and builder、土地所有者 land owner。施工者は“私は大きな家を作りたい”と言うでしょうし、決定者です。それから建築家は状況を見渡し、問題を解き、デザインを創造する。そして大工は単にルーチンの作業を遂行する。同様の比喻が兵士 soldier 少佐 major 将官 general 大臣 minister 王 king でも言える。兵士は単に上官の指令を遂行するが、少佐は戦略を考案し、将官は軍隊の責任を負って総ての決定を下す。

Row 4 Security and task (to do with the routine)	Carpenter 大工	Soldier 兵士	Soldier
Row 5 Creativity and performance	Architect 建築家	Major 少佐	Minister 大臣
Row 6 Responsibility and leadership	Builder or a landowner 施工者	General 将軍	King 王

私の理解では、健康な人は状況に依存して総ての row のテーマを持つでしょう。言い換えると、総ての row の性質を有しているのが健康であり、状況によって変化するののははっきりします。例えば、突然の怒りがあれば、すぐに刺激されて row 2 のようです。服を選ばなければならぬ時、どれにするか決めかねると row 3 のよう。口座を開いて節約し将来を計画するならば row 4。問題を解決して創造的に考えるならば row 5 に従って活動しているでしょう。おしまいに、長期計画を練らなければならぬなら、彼は row 6 にいなければなりません。彼は順応性があり、順応性は健康です。 彼があるステージに固定されると病なのです。

以上